

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム 望海荘

## 目標達成計画書

作成日: 平成 24 年 09 月 07 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	利用者の重度化に合わせ、関係者で協議し、利用者や家族の希望を取り入れた、ターミナルケアの指針を作成し、家族との連携を今以上の強固なものにしていく。	ターミナルケアの指針を作成し、ホームで支援出来ること、出来ないことを明示し、利用者や家族に契約時に説明し、理解を得て、重度化に向けた関係者との方針の共有と合わせ、利用者や家族が安心出来る体制を構築していく。	12ヶ月
2		職員の質の向上と質の確保	利用者の、重度化による職員の介護時間の増加は、利用者全員が均一な介護サービスの提供を、受けられない危機感があり、職員の頑張りと、技術力の向上で対応していく。	職員のやる気や、習熟度に合わせ、外部研修に職員を派遣し、内部報告会で職員全員が理解し、共有しながら、利用者の満足のいく介護サービスを提供していく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。